



実行しましょう
3つの
チェック

“あなたのLPガス”の 安全・安心へ!

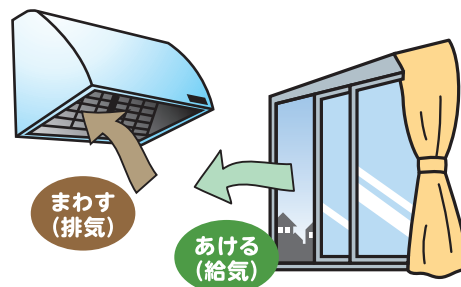
日頃のチェックと再確認でCO中毒事故・ガス漏れ事故を防ぎましょう。



チェック1

ガス器具を使う時には必ず換気を

空気(酸素)不足のままガスなど、いろいろな物が燃焼すると有毒なCOが発生します。COは「無色・無臭」のため、気付かないうちにCO中毒を起こし、死に至る場合もあります。ガスを使う時は、換気扇を回す・ときどき窓も開けるなどの換気をして新鮮な空気に入れ換えましょう。

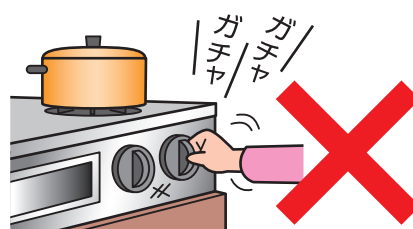


チェック2

点火しにくいガス器具には点検を

点火ミスを繰り返すと器具内に溜まったガスに引火し、事故につながる恐れがあります。また点火時は、炎の色が青いことを目で確認し、異常を感じたらすぐにLPガス販売店に点検の依頼をしましょう。

※乾電池が切れていると点火できません。

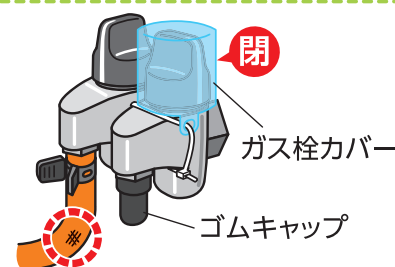


チェック3

使っていないガスの元栓には防止を

誤開放防止のため、使っていないガスの元栓のつまみは「閉」にし、ガス栓カバーとゴムキャップをつけましょう。

ゴムホース(ゴム管)にひび割れや焼け焦げのあるものは交換をしましょう。



警報器の交換期限もチェックしましょう。

万が一のガス漏れやCOが発生した場合、ブザーや音声で異常を知らせてくれる安全器具の警報器には交換期限があります。5年を過ぎたら新しい警報器と取り換えてください。



ガス警報器 CO警報器

◆異常があれば、すぐ連絡を◆

ガス臭い・ガス漏れなどの異常を感じたら使用をやめ「緊急時の連絡先」へすぐ連絡をしましょう。

※緊急時の連絡先はあらかじめLPガス販売店に確認してください。

緊急時は

夜間休日も対応

30分以内に対応



地震など災害後に ガスの使用を再開する時は!

必ず次の安全確認を行ってからガスの使用を再開しましょう。

安全確認① ガス漏れやガス臭い時は

ガスを使用せず、器具栓、ガスの元栓、メーターガス栓および容器バルブをすべて閉めて、「LPガス販売店」か「緊急時の連絡先」へ連絡してください。

安全確認② ガス器具が損傷していた時は

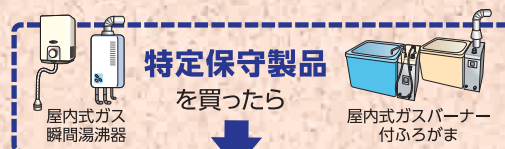
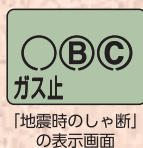
ガスを使用せず、ガス器具メーカーに修理を依頼してください。

ガスメーター「復帰操作」時の注意

●ガスメーターがしゃ断された場合は、ガスメーターの表示を確認してから復帰操作を行ってください。

●復帰操作をしても復帰しない場合は、復帰操作を繰り返さず「LPガス販売店」の点検を受けてください。

※ガスメーターの復帰方法などの詳しい情報は、LPガス安全委員会ホームページでご確認ください。



長期使用製品安全点検制度 を活用しましょう!

①ガス器具購入店から点検制度についての説明を受けましょう。

②所有者票をガス器具購入店に渡すか、ガス器具メーカーに郵送し、登録しましょう。

③点検時期が来ると通知が届きます。ガス器具メーカーに点検(有料)を依頼しましょう。

※点検を受けていただくことが法律で求められています。

今お使いのガス器具も点検が受けられます。

平成21年度4月以前に製造された製品は法定点検の対象外ですが、お客さまのご依頼があれば、法定点検に準じた点検を行います。点検・調査・修理・改善(有料)については、ガス器具メーカーにご相談ください。

